

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

vol.25

新潟港で進むカーボンニュートラル拠点化構想

国土交通省と新潟県は、新潟港を対象としてカーボンニュートラルポート(CNP)の形成に向け新潟港CNP検討会を立ち上げ、水素や燃料アンモニア等の需要や利活用方策、港湾の施設の規模・配置等の検討を進めています。

新潟カーボンニュートラル拠点化・水素利活用促進協議会は、新潟港周辺の港湾物流における輸送機械、荷役機械の脱炭素化の促進などについて実証試験も含めて検討を進めていくとともに、将来、需要増が見込まれる水素・燃料アンモニアなどの大量輸送への対応を可能とする受け入れ環境や広域連携輸送、新潟港の特徴でもある既存ガスパイプラインや臨港鉄道などを活用した供給体制についても検討を進めていきます。

2050年のCNP形成に向けて、短期的には水素・燃料アンモニア等の利活用に係る技術実証、全国の港湾に先駆けた取り組みを積極的に検討するほか、中期的には、荷役機械やトラック・トレーラーの燃料電池(FC)化や水素ステーションの整備などを検討し、長期的には水素・燃料アンモニアなどの使用増加に対応した受入・供給体制の構築に向け検討します。北陸最大の物流拠点である新潟港の水素利用ポテンシャルは約35万トン/年とみられており、動向に大きな注目が集まります。



※上記はイメージです

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。